



令和5年6月7日（水）

第17回遠野市史編さん委員会を開催しました

今回の編さん委員会では、任期の更新による辞令交付に続き、『新編遠野市史』全体の執筆要領や執筆者の著作権に関する覚書、『新編遠野市史 資料編 考古/古代・中世』の表紙デザインについての協議を行いました。

これまで執筆要領はそれぞれの部会で定めていましたが、『新編遠野市史』全体にわたる執筆要領が必要という意見を受け、基本的な文章表記や編集・校正作業などについて今回定めています。また、著作権に関する覚書は、執筆者の著作権および著作者人格権を守るためのものです。覚書の案を諮ったところ、文言の整理や専門家の知見が必要ということになり、次回委員会で再度協議することになりました。

『新編遠野市史 資料編 考古/古代・中世』は今年度末刊行予定のため、表紙などのデザインを次回委員会までに決定する必要があります。今回3案を示しましたが、いずれも決め手に欠けるとして、こちらも決定は次回に持ち越されました。



▲辞令交付



▲会議の様子

編さん室日記

現在保存修理工事真っ最中の国指定重要文化財旧千葉家住宅では、先日まで主屋の屋根葺きが行われていました。右の写真は、足場解体前に撮影した屋根の様子です。足場を解体するとなかなか屋根の上部は見る事ができなくなりますので、登って撮影させてもらいました。屋根の最も高い部分「棟」には芝が張られています。これを芝棟しほむねといい、植物の根を張らせることで屋根を補強します。ユリの球根も植えてあるそうなので、夏には旧千葉家住宅の屋根を彩ってくれることでしょう。芝棟の下には、防水のため油分を多く含むスギの葉が敷かれていました。この日は仕上げ前でしたが、現在はスギの葉もカヤもきれいに切り揃えられているそうです。公開後はぜひ屋根の高い部分にもご注目ください。



▲馬屋部分の屋根の上部。
この日は仕上げ前のため、職人が使う丸太足場がまだ残されている。

▲住居部分の屋根の上部。
箱棟と煙出しには千葉家の家紋である月星紋と丸に三つ星紋があしらわれている。





令和5年6月24日（土）

第3回民俗部会を開催しました

民俗部会では、民俗編に関わる諸事項を協議して決定する部会と、委員の研究発表や意見交換を行う研究会とに分けて会議を開催しています。今回の部会では、執筆担当者の変更について協議し、編目を一部精査して次回の部会に諮ることとしました。また、これまでに委員から寄せられた編目案をもとに各自の調査の進捗状況が報告され、取り上げてほしい事柄について意見交換が行われました。

雷神講調査

部会終了後、夕方から行われた小友町外山地区の雷神講「雷神様のお神酒」の調査を行いました。

この行事は6月25日前後に行われます。まず講中の構成員である地区の人々が公民館近くの石碑を拝み、その後直会になります。この日参加していたのは各家の男性12名で、直会の準備は「ヤドマエ」と呼ばれる当番に当たった2軒で行います。直会では、お神酒のほか豆腐1丁が必ず振る舞われ、鯉節や醤油をかけて食べます。その他の料理に決まりはなく、その年のヤドマエの裁量ということでした（この日はポテトサラダやゆで卵など）。この地区の集まりで豆腐が振る舞われるのは、「雷神様のお神酒」とかつて行われていた「二百十日^{にひやくとおか}*」の時だけとのことで、岩崎部会長によると、豆腐が振る舞われるのは本来^{しょうじん}精進*のためであるということです。なお雷神信仰については、遠野市史編さん活動報告 Vol.15 で雷神の石碑とともに紹介していますので、ぜひあわせてご覧ください。

用語解説

*二百十日…にひやくとおか。

立春から数えて210日目の日で、9月1日頃にあたる。台風の時期であるため、雨風を鎮める雨風祭が行われる。

*精進…しょうじん。

心身を慎み不浄を避けるため、飲食や行為を制限すること。その内容は様々であるが、一般には肉食や臭気の強いものを慎む。



▲会議の様子



▲石碑を拝む様子



▲直会で供される豆腐

地区の方々のご好意で直会に参加させていただき、豆腐も御馳走になりました。木綿豆腐1丁は、かなりの満腹感がありました！

